



平成26年7月10日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 菱沼 捷二
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 代表取締役専務 総務部長 竹鼻 達夫
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,000	250	200	200	3.13
今回修正予想(B)	40,000	150	100	100	1.56
増減額(B-A)	△3,000	△100	△100	△100	
増減率(%)	△7.0	△40.0	△50.0	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	41,177	△512	△606	△698	△10.93

平成26年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,500	350	300	300	4.69
今回修正予想(B)	38,000	250	200	200	3.13
増減額(B-A)	△3,500	△100	△100	△100	
増減率(%)	△8.4	△28.6	△33.3	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	39,559	△366	△297	△334	△5.23

修正の理由

(連結)

主力事業であります繊維機械事業は、中心市場の中国におけるシャドーバンキングの問題や綿花価格下落による受注低迷、L/C開設遅れなどの影響が懸念されます。一方で、欧米や日本市場の回復が見られるなど、全体としてはまだ模様となっており、慎重に推移を見なければなりません。中国市場のフォローとインドなど回復が期待される市場への販売を強化するとともに、社内コストの見直しを徹底して利益確保を図ってまいります。

工作機械関連事業は、工作機械業界の回復に連動して市況の回復が見込まれますが、当初予想した伸びには至っておらず、当第2四半期におきましては計画が下ぶれする要因となりました。今後、スマートフォンなど電子機器産業や自動車産業への設備投資が進むと見られており、本格的な回復に向かうと予想しております。

このような状況から、通期の業績予想につきましては、売上高は40,000百万円と、平成26年4月10日に公表いたしました予想値を下方修正いたします。このため、損益面では営業利益は150百万円、経常利益は100百万円、当期純利益は100百万円に下方修正いたします。

なお、詳細は本日開示いたしました「平成26年11月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通りであります。

(個別)

業況については上記に記載の通りであります。

通期の業績予想につきましては、売上高は38,000百万円と、平成26年4月10日に公表いたしました予想値を下方修正いたします。このため、損益面では営業利益は250百万円、経常利益は200百万円、当期純利益は200百万円に下方修正いたします。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上